

令和4年6月23日

会員各位

日本病院薬剤師会

不審メール等に係る情報提供

昨今では、パソコンやスマートフォンでの連絡手段としてEメールを多く利用しているものと存じますが、便利な反面、「不審メール」「迷惑メール」が大きな問題となっています。

これらについては、一般的に、受け取る人の意思に関わらず、勝手に送りつけられてくる場合が多くなってきています。

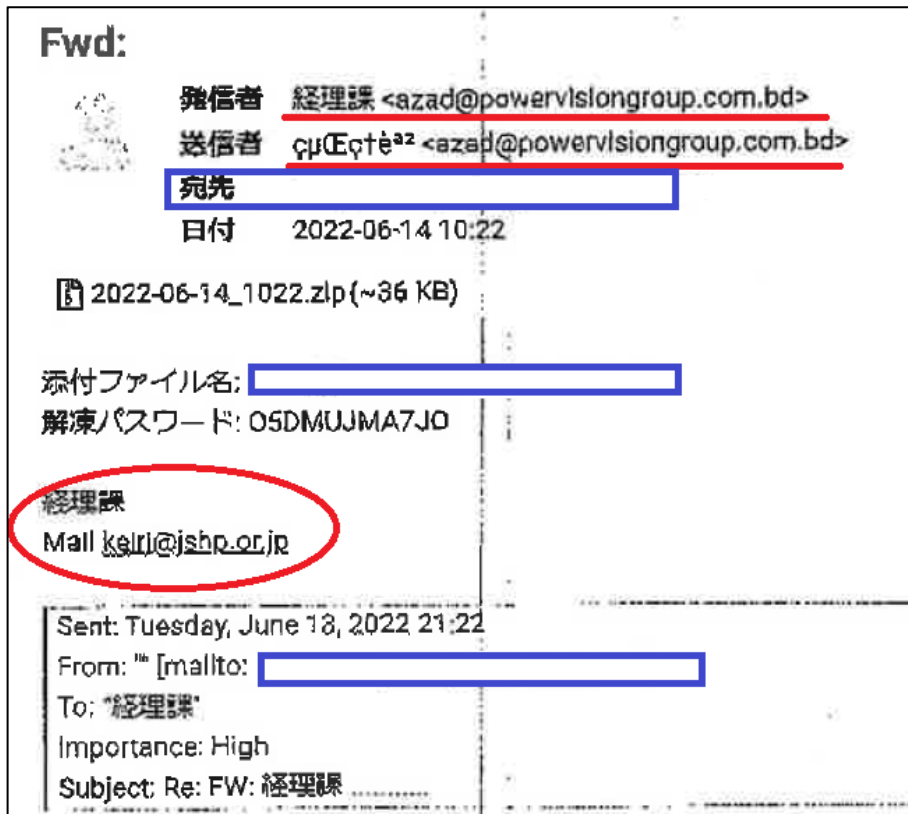
先般も、「日本病院薬剤師会」や「経理課（日本病院薬剤師会のメールアドレスが記載されたもの）」などが、都道府県病院薬剤師会の会長施設宛てに送信されています。

対策としては、メールサービスを提供する電気通信事業者など業界全体も講じていると聞いていますが、個々の対応では『不審メールを開かない（無視する）』『リンクをクリックやタップしない』『個人情報を入力しない』などが挙げられています。ただし、これらの対処についても限界があるかと考えています。

いずれにしても不審メール、迷惑メールなどへのご注意をいただきたく情報提供を致します。

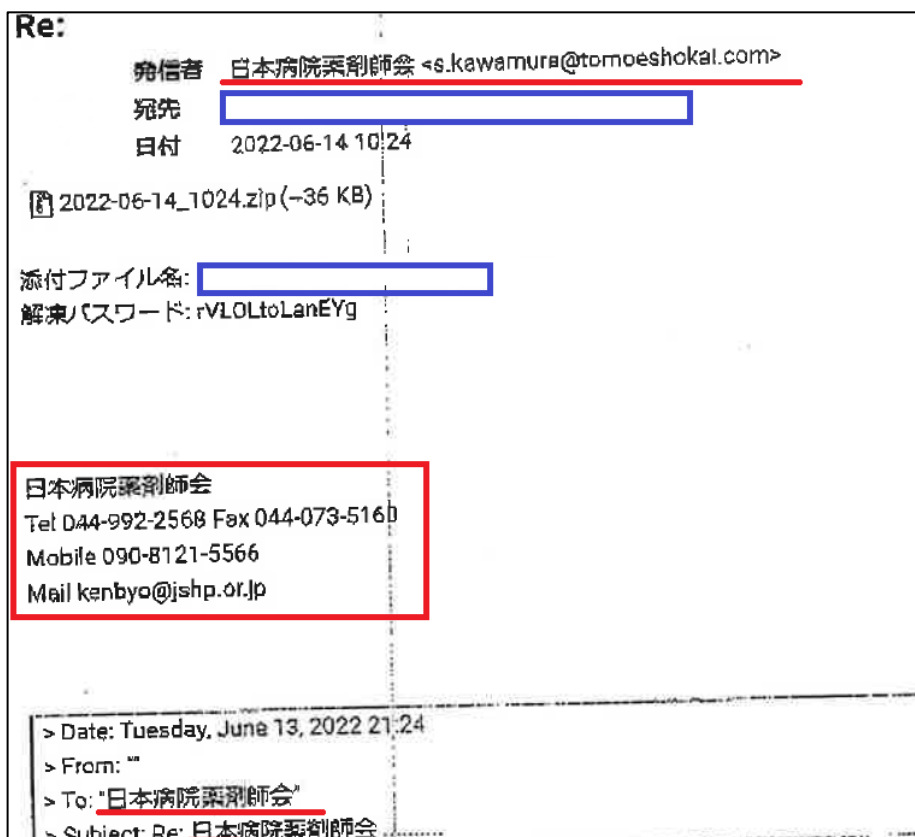
【事例】

会員から情報提供のあった不審メール（その1）：



- ・ 赤色下線では、メールの発信者や送信者が「〇〇〇@□□□.com」のように、海外のサイトからのアドレスと思われる。
- ・ 青色にて囲いの箇所は、メール受信者の情報につき、マスク処理を施しています。
- ・ 経理課のメールアドレスは、日本病院薬剤師会のアドレスではありますが、上述のとおり発信者や送信者については、全く日本病院薬剤師会とは無関係です。

会員から情報提供のあった不審メール（その2）：



- ・ 赤色下線（上段部分）では、メールの発信者や送信者が「○○○@□□□.com」ように、海外のサイトからのアドレスと思われる。
- ・ 青色にて囲いの箇所は、メール受信者の情報につき、マスク処理を施しています。
- ・ 赤色の囲み部分には、日本病院薬剤師会の名称が記載されていますが、全くのデタラメ情報です。
- ・ 赤色下線（下段部分）にも「日本病院薬剤師会」の名称が記載されていますが、ここで安心はされないようにお願いします。